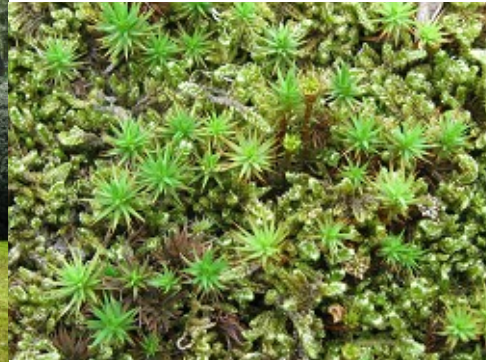


もりふれ倶楽部通信 NO. 26

こけ植物について もりふれ倶楽部 理事長 横原道夫



22年度が中国青海省の大地震、アイスランド火山の大噴火で幕を開けました。例年と異なり四寒三温のくり返して花の季節をむかへましたが寒さが長引く分、花の散りが遅くなり寒い中で満開の桜が十分楽しめました。しかし、今年度も天変地異と温暖化による気候変動に おののきながら過ごさねばならないかと思うとちょっと気がめいります。

さて21年度のもりふれ倶楽部の活動は、事務局の懸命な努力と関係の会員の皆様の多大な支援により もりふれ倶楽部の活動の理念に従って幅広く事業が実施され、県民の皆様方には勿論、全国の林業関係者の間にも理解を得られつつあるものに成長したと思います。去る5月1日の22年度の総会でも出席の会員の皆様より、活動に対して一定の評価を頂きました。またさらに多様化する今年22年度の活動予定にも全会一致の拍手を頂きました。この上は、事務局の仕事がオーバーワークにならないよう、全会員の皆様がたのさらなる支援をよろしくお願いいたします。

ところで、ふるさと森林公園の学習展示館南に、眼下に出雲平野が見下ろせるちょっとした日本庭園が築かれています。日本庭園といえば、禅の心を表現するために、岩石を所々に配置し こけを敷いて深山幽谷の様相を表現し、わび・さびの世界を楽しむ日本人独特の精神文化を形にしたものと思います。

日本人の心には、満開の桜の花を愛でる華やかさと、岩の陰などに何気なくひっそりと配されているこけの静かさを愛する独特のものがあるようです。もりふれ倶楽部でも自然塾等のイベントの中で こけ玉づくりの楽しみを通して、わび・さびの世界の一端にふれる活動もしていますので、今回はこけの世界について無い知恵をしぼることにしました。

陸上の植物とは、土壌中に含まれる生命維持のための水を地上部に短時間に送り込める維管束(導管など)が発達した 根・茎・葉という器官が分化している した植物、種子植物を指すことになります。残念ながら、維管束が未発達のため大きくなれないし 派手な格好が出来ない こけ植物は大部分のものが陸上の生活をしながら陸上の高等植物から仲間外れの日陰者扱いにされた植物群なのです。しかし日陰者は日陰者の意地で、生命維持に必要な水が得られるところで自分の体が固着(仮根を使います)できさえすれば、少々寒い所でも、高い所でも光が少し指し込む洞穴みたいな所でも、岩や木の表面であろうがどこにでも生活の場を確保できるしたたか者でもあるのです。

約40億年前に海水中で誕生した生命体が、長い生命の歴史を経て多様化し、今から約6億年前位に光合成色素クロロフィルaとbを持つ緑藻類の仲間が生活空間を陸上に求めて進出し、進化して約5.5億年前にこけ植物が、4億年前位にした植物が、そして3.5億年前に種子植物が出現し今日に進化発展してきたと考えられています。

いずれも無性生殖細胞(孢子など)を作り出す孢子体(無性世代)と有性生殖細胞(精子や卵)を作る配偶体(有性世代)の両生活体を持ち、この両方の体を交互に交代(世代の交代)させながら生命を連続させる生物です。

こけ(蘚苔)植物は 生活の本体が水中生活の名残をとどめる配偶体(水中生活者である精子や卵を作るからだ)で、乾燥しがちな陸上の生活には生命の連続と言う部分にいまいち対応しきれないところがあります。こけが日陰者の存在になっているのはこんなところに理由があるのでしょうか。一方孢子を作るからだ孢子体は孢子そのものが乾燥に強いものですから、陸上の生活に適したものであると言えます。話をはしょりますが、した植物や、種子植物は孢子体が生活の本体であり配偶体は前葉体や花粉管・胚のうと呼ばれるものなのです。陸上の生活に適応すればするほど、孢子体(無性世代)が発達し、配偶体(有性世代)が小さくなり簡素化する傾向が見られます。

こけ植物(蘚苔植物)には、苔類(ゼニゴケ類等)と蘚類(スギゴケ類等)があります。本体(配偶体)には維管束はなく、体全体で水を吸収するため背丈を垂直に伸ばすことなく扁平な葉状体で地面にへばりつくゼニゴケやジャゴケ等(苔類)と、茎葉体らしき構造を持ち、立ち上がりの様子を示すスギゴケ等もあるが、どちらかと言うと糸状で地面に這って生活するハイゴケやミスゴケ等のほうが多く見られる(蘚類)とに分けられます。どちらも本体(配偶体)に雄器托(精子を作るところ)をつける雄株と雌器托(卵を作るところ)をつける雌株が区別される雌雄異株が殆どです。雄株から泳ぎだした精子が雌株の卵に到達し受精がなされ 2倍体の孢子体に成長し、孢子囊のなかで減数分裂により半数体の孢子ができます。つまり、有性世代の配偶体は遺伝子を半分しか持っていない身体であり、無性世代の孢子体が両親の遺伝子をそろえて持ち、環境の変化などにも遺伝的にきちんと対応できる身体になるのです。こけ植物が陸上の高等植物にランク入りできない理由かも？

田舎暮らしのススメ ～ なつかしの国 石見 から ～

邑智郡川本町在住 福代美保

レポート 14

薪割りくらぶ準備

松江で生活していた頃、松江薪ストーブ同好会に所属して薪ストーブの薪を調達していました。川本に来て、身近なところに里山が有りながら薪の調達に苦労していました。また、伐採されている木がそのまま放置されているのを見て、川本にも薪割り倶楽部を創りたいと一念発起。2年越しで準備に取りかかりました。手伝ってくれる地元の方にも恵まれてのことです。

最初は原木を調達することから始めています。川本町役場の若手職員宅で伐採された木を4トントラックで取りに行きました。

田舎では、何でも出来る手に技を持った方が多く、仕事道具にも恵まれています。原木置き場にも潤沢。

薪棚を準備して会員の募集を始めます。広島から1時間半で来られる環境にあるので都会の薪ストーブユーザーに運動を兼ねて参加して欲しいものです。



レポート 15

石見の海

川本から浜田に通勤する途中には美しい海が見られるポイントがいくつもあります。9号線の江津市浅利町には発電用の風車が林立しています。

白い砂浜が美しい自然美の中に巨大な構造物があることに異議を唱える方も多いと思いますが、それはそれで美しいと思います。海岸に降りて風車を見上げることが出来ます。浜にはペットボトルなどのゴミも打ち上げられていますが、流木や貝殻なども転がっています。近くにはサーファーの方々も波を楽しんでいます。



レポート 16

羊の牧場建設

川本には3軒の農家が羊を飼育しています。果樹園の下に放牧して草刈りを軽減することが主な目的です。この羊の毛を利用して羊毛製品を作るグループもあります。近年では、羊を飼育する農家が高齢化の為に飼育が難しくなっていて心配していました。

そんなところに、東京から羊を飼いたいと30代の男性が川本町に移住してきたのです。羊農家の方と相談した結果、羊を譲ってもらうことになりました。上手く世代交代が出来そうです。早速、金網を張って牧場の整備を始め2ヶ月掛かりで完了しました。ここでも、技を持った地元の方々に指導してもらいながら作業を進めました。田舎は資源も豊富だけど、人材も豊富です。



レポート 17

羊の毛刈り

整備した放牧場で、今年3回目になる羊の毛刈りをしました。当日は、GWの初日。遠方から帰省された方や羊の勉強に愛媛や隠岐の島から来られた方々もあり、総勢30名を越える人が見に来られました。羊の飼育のために移住してきた羊男君の初めての毛刈り体験。昔から飼育されている羊のおじさんの指導の基に2日間で20頭の羊の毛を刈りました。もちろん私もバリカン片手に作業に。運動不足で太股やお尻が筋肉痛になりましたが良い汗を流しました。今年は、私も羊の毛を染色しようと、刈った毛を持ち帰り、ただいま漬け物桶にお湯を入れて洗浄中です。



平成21年度 もりふれ倶楽部の歩み

1月19日(火) 学校林を活用した森林環境教育推進事業

安来市布部小学校において、5年生に「ヒノキの和紙づくり」体験の指導を行いました。事務局対応



1月20日(水) 学校林を活用した森林環境教育推進事業

雲南市立西小学校4年生に対して、「ヒノキの和紙づくり」体験の指導を行いました。事務局対応



1月24日(日) 森林ボランティア

残雪の中、飯南町下来島の「セラピーの森」の枝打ちを実施しました。

メンバー 響繁則、吉川英雄、金折信蔵、大島重昭、岡田邦博、松本尚子、
安達宏史、飯島仁司、藤田健一、野田真幹



1月26日(火) 学校林を活用した森林環境教育推進事業

安来市立布部小学校5年生に対して、森林作業体験指導を行いました。指導 中村正志、野田真幹



1月31日(日) 美しい森林づくり公開講座

大田市の「あすてらす」において、NPO法人緑と水の連絡会議と共同主催で、美しい森林づくり公開会議「里山バイオマスの地球循環に向けて」を開催しました。質問カードの導入により、4人の発表者と約50名の参加者が、テーマについて議論を展開しました。

メイン講師 中嶋健造(土佐の森救援隊) 講師 高橋佳孝、林幹夫、和田譲二、野田真幹

コーディネーター 高橋泰子

2月6日(土) 農村環境保全団体視察対応

ふるさと森林公園学習展示館において、松江市を視察に訪れた農村環境保全団体「水土里ネット岡山」約20名の視察を受け入れ、もりふれ倶楽部の活動を紹介させていただきました。事務局対応



2月7日(日) 第10回里山自然塾

～花炭とハゼのロウを作ろう!～

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県緑化センターからの委託事業、第10回里山自然塾「花炭とハゼロウを作ろう!」を実施しました。33名の参加がありました。

講師 洲濱寿晴、中村正志、ボランティア 正木勉、竹下健二、木村京子

2月9日(火) 学校林を活用した森林環境教育推進事業

雲南市立西小学校4年生に対して、島根県林業作業士の野田が、森林保全の大切さについて話をしたのち、森林インストラクターの中村が模型を使って、整備が遅れた森林と土砂災害の話をしました。



最後に、森林保全の大切さを伝える紙芝居「みーも君の冒険」を上演しました。

指導 中村正志、野田真幹



2月11日(木) 美しい森林づくり公開講座

NPO法人アンダンテ21と共同主催で、同NPOが管理する廃校において、美しい森林づくり公開会議「暮らしの中の木づかいを考える」を開催しました。講演や薪割り体験等の後、約40名の参加者全員が、1人1言、発言をしました。「木使い」や「森林保全」に関する前向きな発言が続きました。

講師 戸谷淳、吉田篤志、野田真幹



2月14日(日) 美しい森林づくり公開講座

ふるさと森林公園において、森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議と共同主催で、美しい森林づくり公開会議『「私」は森林と関わりたい』を開催しました。島根県を代表する2名の林業家を中心に、森づくりを支援する企業、退職山林所有者、森林ボランティア団体、森林セラピー普及者が3部構成の中で議論を交わしました。約40名の参加者も、質問カードや最後の時間で議論に参加しました。

講師 栗栖誠、響繁則、森下義雄、金折信蔵、中村正志、玉野英敬 コーディネーター 野田真幹

2月28日(日) 森林未来経営塾

(社)全国林業改良普及協会と協同主催で、県東部の奥出雲町、雲南市、松江市、出雲市でバス乗車場所を設けて、森の名手・名人100選に選ばれた、栗栖誠氏(県西部の浜田在住)の山を訪問し、2時間半じっくり山歩きをしながら、栗栖流の山づくりを学ぶ研修「栗栖誠さんの山へ行こう!」を実施しました。約30名の参加者はその創意工夫にあふれた山づくりに、おおいにヒントを受け、自身の山での実践を楽しみに帰られました。講師 栗栖誠、響繁則、野田真幹



3月7日(日) 第11回里山自然塾

~竹を学び使ってみよう~

ふるさと森林公園学習展示館において、島根県緑化センターからの委託事業、第11回里山自然塾「竹を学び使ってみよう!」を



実施しました。竹について、材としての特徴も踏まえて学び、竹で「かぐや姫時計」を作りました。今月の草木茶として「メグスリの木」を煎じて飲みました。

講師 坂本英希 ボランティア 榎原道夫、中村正志、藤田健二

3月14日(日) 忌部水源の森づくり交流植樹会講演



松江市水道局主催イベントにおいて、松江八束森林組合の依頼で、事務局長の野田が「水をはぐくむ水源の森を守ろう!」というテーマで、講演をおこないました。約100名の参加者が、森を中心とした水源保全の話やもりふれ倶楽部の活動に関する話を聞きました。 講師 野田真幹

3月14日(日) まつえしボランティアフェスティバル対応



松江市総合福祉センター全館において、松江市社会福祉協議会・松江市ボランティアセンター主催、第5回まつえしボランティアフェスティバルで、こけ玉作りの指導を行いました。

指導 伊原千里、宮崎徳子

3月29日(土)～30日(日) インストラクター部会主催研修

森林インストラクター部会世話役代表の板木ひろみ氏、八幡誠一郎氏、それに、飯南町で森林セラピー活動をコーディネートしている玉野英敬氏の3名が中心に企画して、会員を対象とした、森林セラピー研修会を行いました。

この研修は、建物改装のため、鳥根県森林インストラクターが長きにわたり関わってきた「県民の森研修館」での最後の研修ともなりました。



石川功氏、鳥根県立緑化センター公園担当囑託を退職される。

もりふれ倶楽部ただ1人の創設時からの理事であり、ふるさと森林公園の主のように、10年間、公園を守り続けてくださった石川功氏が、この3月一杯で、鳥根県立緑化センターを退職されました。感謝と同時に、本当に、お疲れさまでした。



もりふれ倶楽部今後の予定

5月16日(日) 10時～15時 里山自然塾「新緑の草木でコケ玉をつくろう」

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

5月29日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第1回大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

2年間、森林公園で自然観察会をやり続けた、森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへ、ご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

会員ボランティア募集中：9時～12時～若干の交通費補助支給

ジェントルマン講師の中村氏から様々なことを学べます。事前申し込み必要。

5月29日(土) 13時～15時 ふるさと森林公園学習展示館

第2回里山ものづくり体験「木切れでどうぶつをつくろう!」(親子大歓迎)

参加お待ちしております。(事前申し込み不要)参加費300円

会員ボランティア募集中：12時30分～15時30分～若干の交通費補助支給

ボランティア希望者は前日正午までに申し込みを!

5月30日(日) 10時～15時 飯南町下島セラピーの森

森林ボランティア1日限りの作業班：間伐後に下層植物を育てる新たな試み

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方は相談ください。

6月5日(土) 10時～15時 安来市立布部小学校学校林整備

森林ボランティア1日限りの作業班：遊歩道の整備と展望の広場の伐開

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方は相談ください。

6月6日(日)10時~15時 ふるさと森林公園学習展示館

第2回里山ものづくり体験「ヒノキの皮で和紙づくり」(親子大歓迎)

和紙づくりの工程を体験でき、ヒノキとヒノキ+牛乳パックの2種類の和紙をつくっていただきます。受付10時~14時30分いつでもOKです。

参加お待ちしています。(事前申し込み不要)参加費300円

会員ボランティア募集中:9時30分~15時30分~若干の交通費補助支給

ボランティア希望者は前日正午までに申し込みを!

6月13日(日)10時~12時 松江市総合運動公園自然観察会

樹木マップ作製実行委員会を中心に企画する自然観察会です。

参加者募集中:9時50分中央広場モニュメント前集合です。前日正午までに、事前申し込みが必要です。雨天時は、傘等雨具を持参ください。参加無料です。

6月19日(土)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第2回 親子のための自然観察会(自然とふれあう子どもを撮ろう!)

大人も参加できますが、あくまでも、子どもを対象とした自然観察会です。

参加者募集中:参加費100円 持ち物~カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

6月20日(日)10時~15時 里山自然塾「竹を楽しむ その1」

竹で楽しむ昼食として、竹食器、竹筒で炊き込みご飯、竹オムレツをつくり試食します。

また、2段の竹灯明をつくり、幻想的な空間を楽しみます。

参加者募集中:参加費300円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

7月3日(土)14時~18時 奥出雲町上阿井 森林ボランティア1日限りの作業班:下刈

参加者募集中:各自のペースで作業をします。参加費無料。

持ち物~軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。場所のわからない方は相談ください。(注.メール配信の会報から都合により実施時間を変更しました。)

7月4日(日)10時～15時 里山自然塾「間伐材と枝で、フクロウ親子の壁掛けをつくろう！」
間伐材の大切さについて学び、間伐材の輪切りと木の輪切りで、「フクロウ親子の壁掛」を作成
します。アケビのお茶も試飲します。

参加者募集中：参加費300円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内
持ち物～弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

7月11日(日)10時～15時 飯南町下来島セラピーの森下刈交流会
森林ボランティア 公募イベント：下刈・野外料理(ピザ等)・自然観察会・ネイチャーゲーム
参加者募集中：参加費500円 小学生から大人まで参加OKです。各自のペースで、森林
ボランティア活動をして、薪で焼いたピザを食べ、自然観察やネイチャーゲー
ムを楽しみます。

スタッフ募集中：会員の方で当日のスタッフをやっていただける方募集します。9時現地集合、
16時解散です。昼食と若干の交通費補助を支給させていただきます。

7月24日(土)7時～9時 ふるさと森林公園学習展示館集合
第1回大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。(16歳以上のみ参加できます。)

会員ボランティア募集中：6時30分～9時30分～若干の交通費補助支給。要事前申込。

もりふれ倶楽部では、活動をサポートしてくださる会員を常に募集しています。
入会金千円、年会費2千円です。会員の方へは、各種活動のご案内のほか、年6
回、もりふれ倶楽部通信を発送させていただいております。

もりふれ倶楽部会報 NO.26

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

Eメールアドレス morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>